

# 「学校関係者評価」結果報告書

## 【第1回目】

○メディアに関する講演会すばらしかったです。

○メディアに関する講演会とても良かったです。オープンスクールと重なり参加できなかった方々は残念に思います。また、もっと大人にも聞いて欲しい講演でした。

○授業に集中して取り組んでいる。

●学校の中ではよく挨拶してくれるが、外でもしてほしい。「いつでもどこでも誰にでも」を合い言葉にしてほしい。

●登下校の自転車の安全な乗り方(交通ルールやマナー)を再度確認して欲しい。

## 【第2回目】

○子どもたちは自分の考えを持って行動している。受け身ではなく、自主的・主体的である。先生方が生徒の個々の力信じて、その力を発揮させようとして育てておられるのがよくわかる。

○今年度「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受けられ素晴らしいと思います。今後も学校・保護者・地域が連携・協力しながら子どもたちが活躍できるよう見守っていただけたいと思います。

○子ども達は五者連携シンポジウムなど積極的に頑張っている。

●自転車で並列走行しているので危険です。

◇毎年1月に天水町「ふれあい祭」の時、小天支館の行事でワнтаイム・クリーン作戦と名付けて、子どもたちが自分が住む町(地域)をきれいにしようと、ゴミ拾いをするのですが、残念ながら中学生の参加がありません。この行事の発足は、子どもたちの声、ゴミ一つない町にしようというかけ声だったそうです。私は、この考え、この行動力に感動しました。トップダウンでなく、ボトムアップのこの提言は今の天水中の子どもの姿にだぶるところがあるからです。令和2年度から、その取り組みのスタートが切れればいいのですが。

## 《次年度に向けて》

□学校運営協議会・生徒会・教職員・保護者(PTA)が、学校教育目標に向かっていくような共通実践を行う。

□今後も学校(生徒会)、PTA、地域「いつでも・どこでも・誰とでも」あいさつができる生徒を育てる。

□生徒会三役がリーダーシップを発揮し、学校行事はもちろん、日頃の活動(常時活動)や地域連携を充実させる取組を実施する。

□「熊本の学び推進プラン」に則り、授業改善・テスト改善を加速させる。

□学校の様子が、保護者や地域に分かるよう学校ホームページ、安心メールもさらに活用した取組を行う。

□12月の五者連携未来シンポジウムを核として、年間6回の学校運営協議会や小中一貫教育教職員研修を実施し、学校教育活動をさらに推進する。



